

PMR 資格試験への挑戦 2

TIS ソリューションリンク (株) 産業ソリューション第一部 主査
佐々木 敦子

■ 受験動機

現在、顧客の品質保証部門において、一部の商材 (パッケージ) の自社のチームリーダーを務めていますが、顧客からパッケージの機能について現行保障され且つ改修が正しく市場に出せるか検査を管理していくにあたって業務改善を含めた提案を求められることがあります。しかし、どのような形で提案をするべきか、どのように進めていくべきかと定めることが難しく、提案できずにいました。

そのような時に PMR の資格があることを知り、自分のレベルアップを図れるとともに、PMR の資格取得を通して、提案に対して顧客が期待するような形とは何かを知り実際に遂行していくポイントを習得できるのではないかと考え、受験することにしました。

■ 受験の感想

(1) 1次試験

1次試験は論述試験で、難しさのポイントは自分が経験したことのない分野の問題や用語が出てきた場合でも、自分なりに論理的に考えた結果をまとめなくてはならないこと、字数に制限があることです。受験することを決めてから受験までの準備期間があまり長くなかったので、文章にまとめたり字数を意識するのは普段の職務を通じて慣れておくようにし、自分が経験したことのない分野の問題や用語について考察することは、「PMR 試験紹介セミナー」と「P2M 実践力養成研修」での以下のアドバイスを基にテレビのニュースを見たり新聞を読むことが役立ちました。

- ・ 普段の自分の目線ではなく、より上位者の目線で全体を見てみる。
- ・ 普段話題になっていることについて関心を持ち、自分の考えを持つ。

(2) 2次試験

2次試験の試験はグループワークで、こちらの難しさのポイントはグループ内で決められた役割を果たすこと、時間内で意見をまとめること、そしてその中で自分の得意な部分や特性を出せるように積極的な発言をすることです。試験当日に注意した点は、グループワークは試験であることに変わりはないので、「研修」と錯覚しないようにすることでした。研修であれば、少々考えが散漫になっても大丈夫ですが、試験であればグループの意見をまとめることができなかつたり自分の持ち味を出せずに終わってしまうかもしれませんので、重要なポイントです。結果として、大きな問題もなく試験を終了することができたと思います。

グループワークについては、個人的には、自分にはない様々な見地や知識を知ることができ、大変勉強になりました。

■ PMR としての展望

合格後は、「顧客への業務改善への提案のチャレンジ」と「自社社員の PM 育成への貢献」を考えています。

「顧客への業務改善への提案のチャレンジ」については、もともとの受験動機になっていたことですが、「自社社員の PM 育成への貢献」は他にできることとして考えたことです。資格取得を通して学んだことを基に、過去に自社内で自分で実施した研修をブラッシュアップして後進の育成に活かしたいと思います。



【プロフィール】 佐々木 敦子 (ささき あつこ)

金融系情報システムの会社から、合併・転籍を経て現職。

様々な現場やプロジェクトのチームリーダーやサブリーダーの経験を有する。

現在は顧客の品質保証部門において、一部の商材 (パッケージ) の自社のチームリーダーを務める。